

質疑

第2回定例会会期中に予算審査特別委員会を設置し、3月5日、6日、7日の3日間にわたり、平成26年度一般会計、6特別会計及び水道事業会計の当初予算について、集中審議を行いました。
その主な質疑内容は次の通りです。

総務 常任委員会所管

一般会計

問 新規事業として町営住宅需要調査を行い、地域のニーズを調査するといふ事業があるが調査内容は、

総務課長 町営住宅は一般的には、住宅困窮者や低所得者向けとなっております。議会でも議論されているように地域振興の中で、若者定住対策として町営住宅の建設等、色々なやり方があるかと思うが、どういう手法で導入するのかを含め、需要、ニーズ調査を計画している。

問 町税の歳入が前年度と比較すると4439万円余り少なくなっているが、減少している主な要因をど

うとらえているか。

総務課長 主な要因として固定資産税が2700万円余り減少している。固定資産税は土地、家屋、償却資産で構成されており、25年度に実施された土地の鑑定評価では、地区によって差はあるが2〜5%下がっている。町県民税についても中央の経済政策がまだ地方に波及していないためと思われる。

問 新たな難視対策事業が、何年ぐらいで難視地域が解消されるのか。

企画財政課長 今年度14地区で共聴施設を整備する。

共聴施設に該当せず高性能アンテナ、光テレビ等で視聴する地区が104地区、959世帯になる。現在衛星放送で視聴されている方は、平成27年3月までで視聴できない

くなるので、高性能アンテナ等に対応したい。
その他52項目

産業建設観光 常任委員会所管

一般会計

問 青年就農給付金について当初7名、後期2名予定しているということ、新規就農者が増えることは喜ばしいが、9名の新規就農者をどのように把握したのか。

農林振興課長 現在、新規就農について規制があるが、それらの規制が緩和される方向にある。25年度についても3人おりましたが、緩和されるといふことで7名を見込み、後期にも2名程度増える予定で予算を計上した。青年就農給付金は、一人当たり年間150万円給付される。

問 友愛の森隣接地1万2000㎡については、仮駐車場、イベント広場に

造成するという計画ですが、それぞれの規模は。また、友愛の森基本計画策定業務委託費が新規で2400万円の委託業務内容は。
観光商工課長 造成面積1万2000㎡は、仮駐車場及びイベント広場兼用の面積になる。

現在、友愛の森総合整備計画を策定中であり、その後の施設基本設計及びコンセプト図等の業務を委託する。

問 サイクリングロードの計画作成については、利用効果を上げること、利便性の良い場所ということ、で総合運動公園との整合性を図ることも検討しているのか。

建設課長 サイクリングロードは、総合運動公園とは別に多面的な活用を考えている。那須高原を自転車で走っていたり、前線で、那須の大自然を満喫していただくことから眺望なども盛り込んだ計画にしたい。

その他46項目

